

令和2年1月17日
東日本高速道路株式会社
新潟支社
関東支社

E18 上信越自動車道は全線開通20周年を迎えました ～地域に果たした役割と整備効果～



E18 上信越自動車道(以下、上信越道)は令和元年10月30日をもって、全線開通から20周年を迎えました。

NEXCO東日本新潟支社(新潟県新潟市)及び関東支社(埼玉県さいたま市)は、日頃から高速道路をご利用されるお客さまをはじめ、沿線地域の皆さまにも上信越道の建設から現在までの歩みやその効果を広く知っていただくために、整備効果を取りまとめましたのでお知らせします。

- ・ 開通後の交通量の推移
1日の利用台数は1.2倍に伸び、現在約6万台/日(平成30年)、最初の開通から累計で約5億台が利用。
- ・ 群馬県産農産物の流通を支援
東京都中央卸売市場へ出荷している群馬県産ナスは、シェアが約5倍に増加、5位から1位に。
- ・ 長野県工業を支える上信越自動車道
上信越道の沿線の長野県内では、機械製造業の製造品出荷額が大幅に増加。
- ・ 新潟県の観光振興に貢献
上越エリアの観光客が増加しており、高田城百万人観桜会の来場者数は約1.6倍に増加。
- ・ 上信越道が賑わいを創出
「道の駅あらい」はPAとの併設、及びスマートICの整備が賑わいに貢献。
- ・ 上信越道が災害時の生活を支援
中越地震では、関越道の一部区間通行止めに対して代替道路としての機能を発揮。
- ・ 全線4車線化でもっと安全・安心・快適に
令和元年12月に全線が4車線となり、重大事故削減や通行止め割合の減少、渋滞緩和が期待できます。

上信越自動車道 全線開通20周年



上信越道は、人と地域をつないで20年

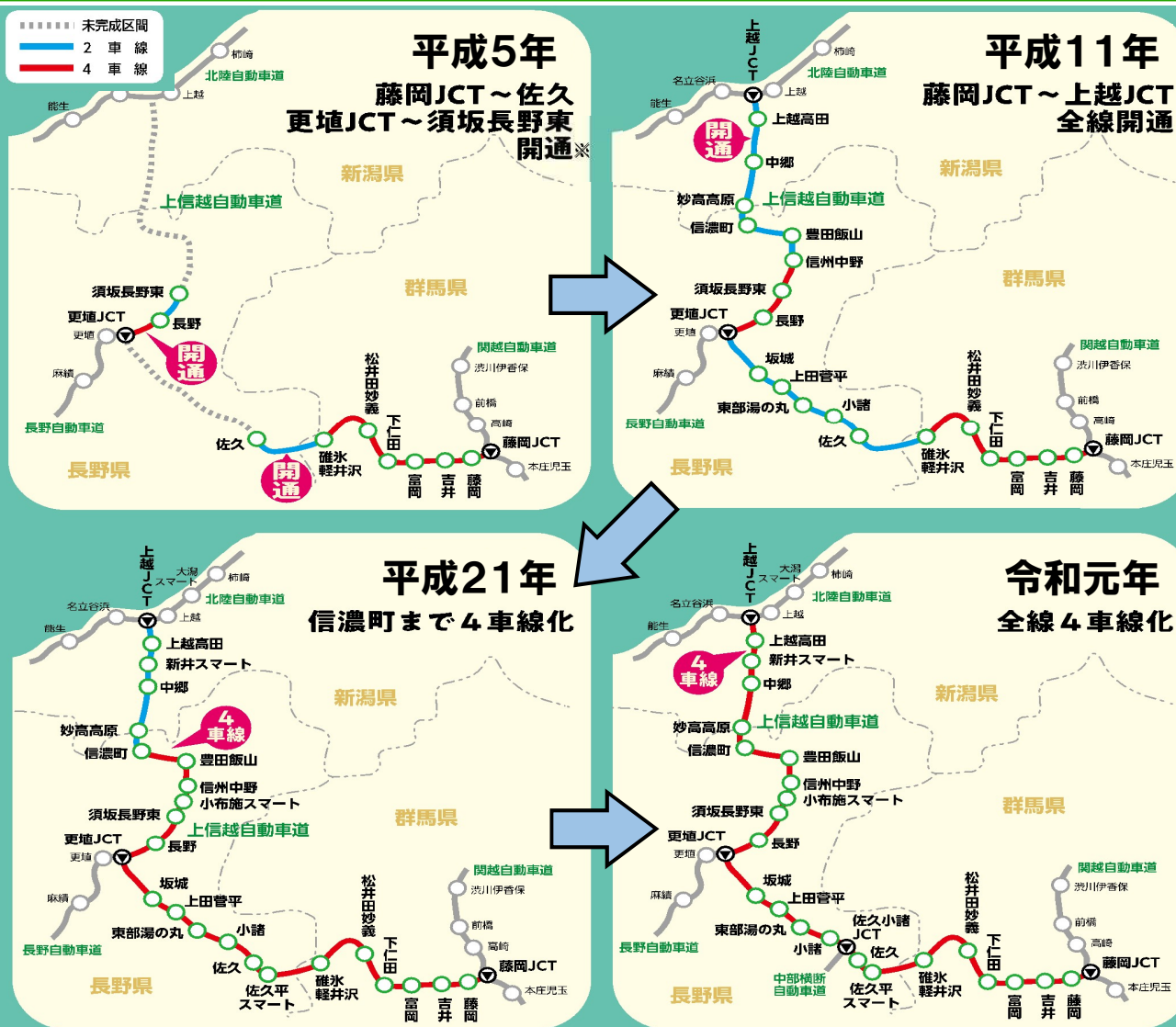
上信越自動車道 信濃町IC～妙高高原IC
新潟県と長野県の県境を流れる関川に架かるれいめい橋を望む

あなたに、ベスト・ウェイ。



上信越自動車道20年のあゆみ

上信越道はたくさんのお客さまにご利用いただき、
全線開通20周年を迎えました！



■ 区間：上信越自動車道 藤岡JCT～上越JCT
■ 延長：203km
E18上信越自動車道は、E17関越自動車道 藤岡JCTから群馬県南部、長野県北部、新潟県西部を経て上越JCTでE8北陸自動車道へ接続する高速道路で、地域の産業、経済、文化、観光などの発展に大きく寄与しています。令和元年10月に全線開通から20周年を迎えました。

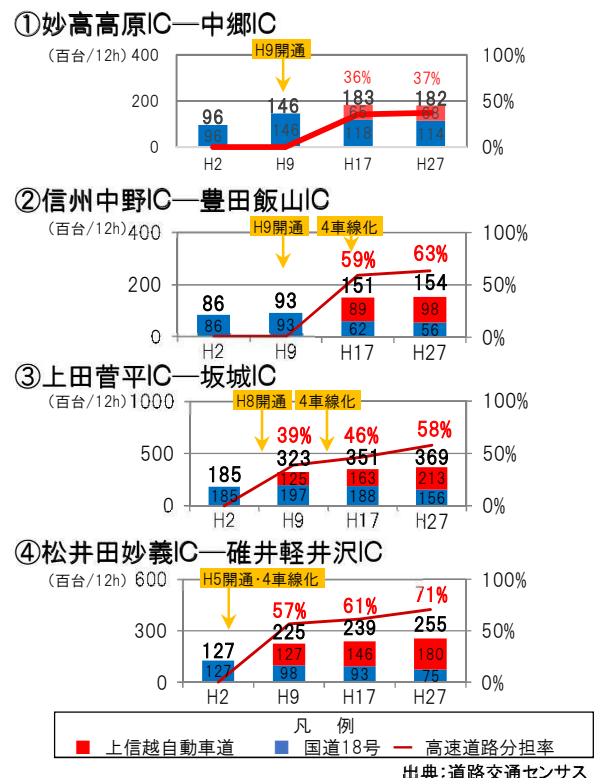
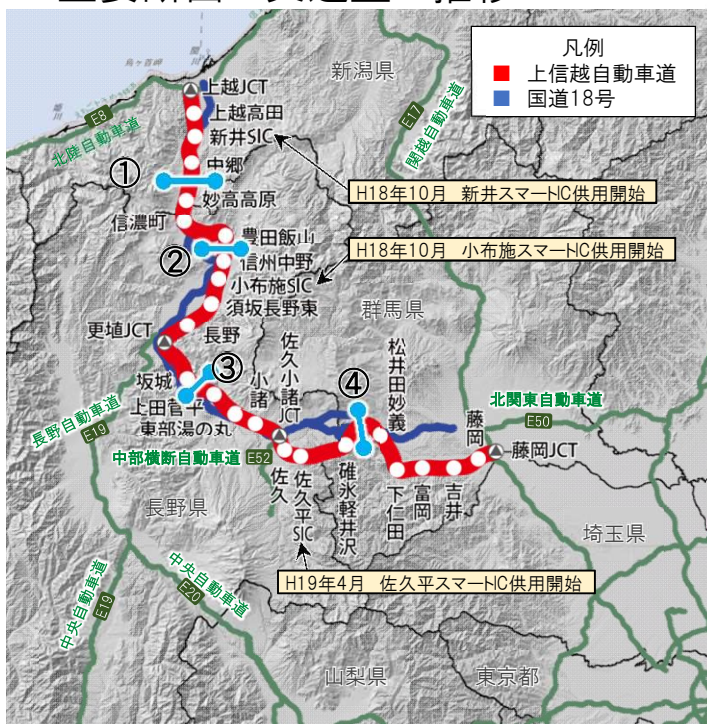


藤岡～佐久間開通(平成5年3月)

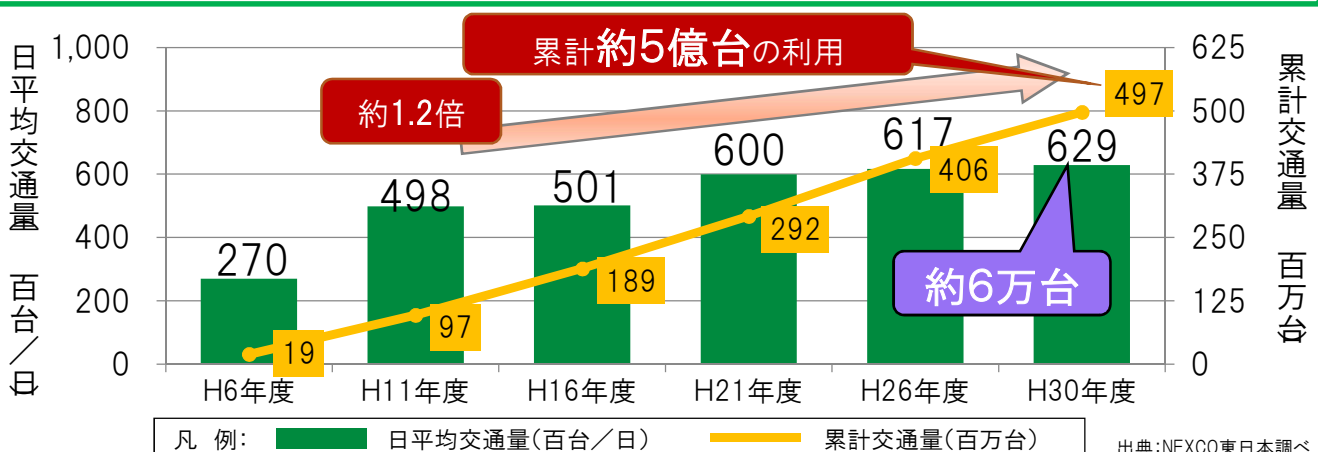
上信越自動車道20年のあゆみ

開通以降、並行国道から上信越道へ交通の転換が進み、松井田妙義IC～碓氷軽井沢IC間では分担率が約7割となるなど、**上信越道をご利用いただく割合が増加**しています。

■ 主要断面の交通量の推移



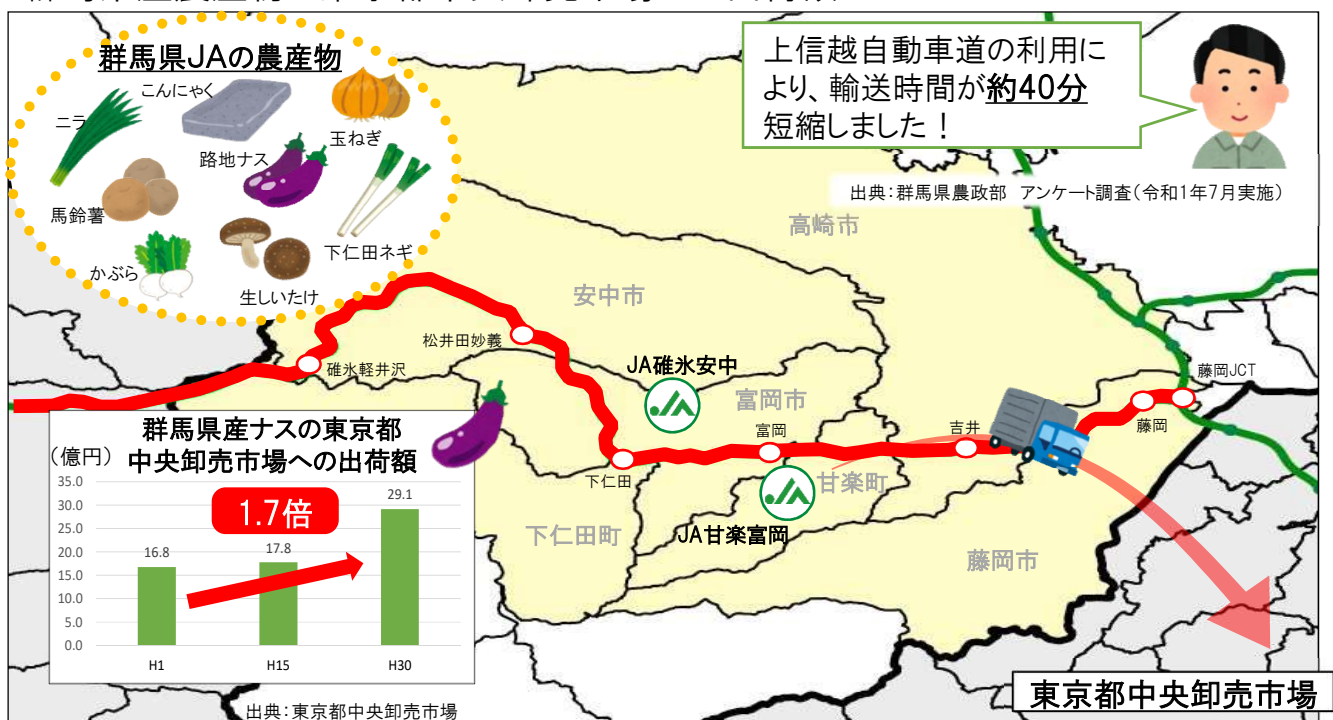
1日の利用台数は**約1.2倍**に伸び現在**約6万台**(平成30年)
最初の開通から累計で**約5億台**もご利用いただきました！



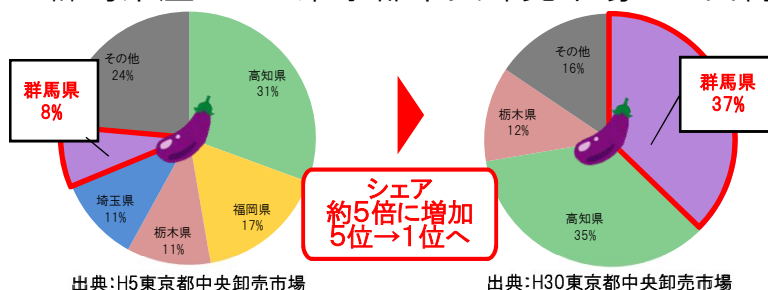
群馬県産農産物の流通を支援

東京都中央卸売市場へ出荷している群馬県産ナスは、**シェアが約5倍に増加し、5位から1位**になりました！上信越道沿線自治体のナスの出荷量は、**約3倍**に増加しています。

群馬県産農産物の東京都中央卸売市場への出荷額



群馬県産ナスの東京都中央卸売市場への出荷割合 ■ 沿線自治体のナスの出荷量



生産者からの喜びの声

輸送時間の短縮により、農作物の鮮度を維持して輸送することができます！

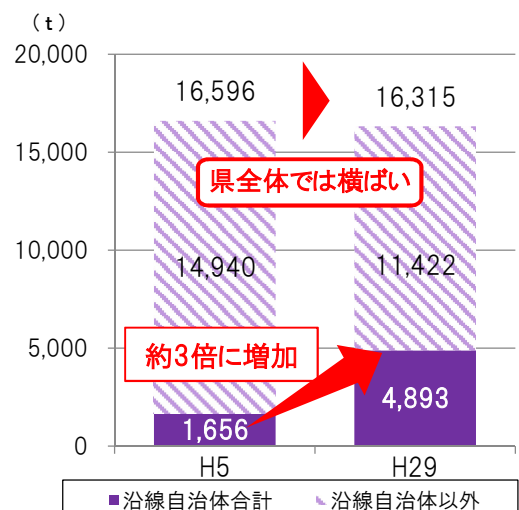
上信越自動車道を使用することで、店舗の指定時間までに鮮度の高い農作物を配送することができます！



出典：ヒアリング調査
（令和元年10月実施）
JA甘楽富岡



出典：ヒアリング調査
（令和元年10月実施）
JA碓氷安中



※沿線自治体：高崎市、藤岡市、富岡市、安中市、甘楽町、下仁田町

長野県工業を支える上信越自動車道

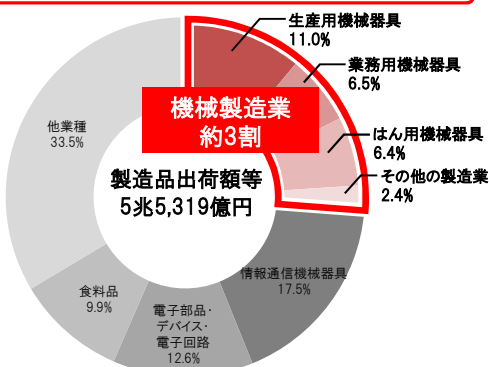
上信越道の沿線の長野県内では、県内の工業を支える機械製造業※の製造品出荷額が**大幅に増加**しました！

※機械製造業：はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、その他の製造業（一部機械以外を含む）

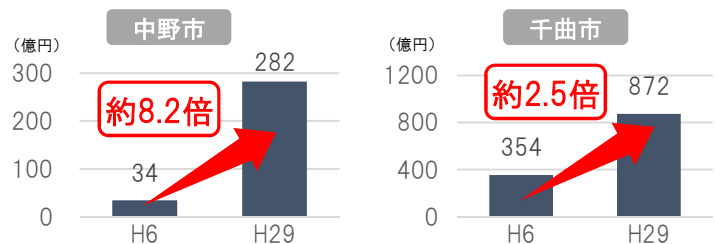
■ 上信越自動車道沿線市町村の機械製造業の製造品出荷額の伸び(H6→H29)

◆ 長野県産業別製品出荷額(H28)

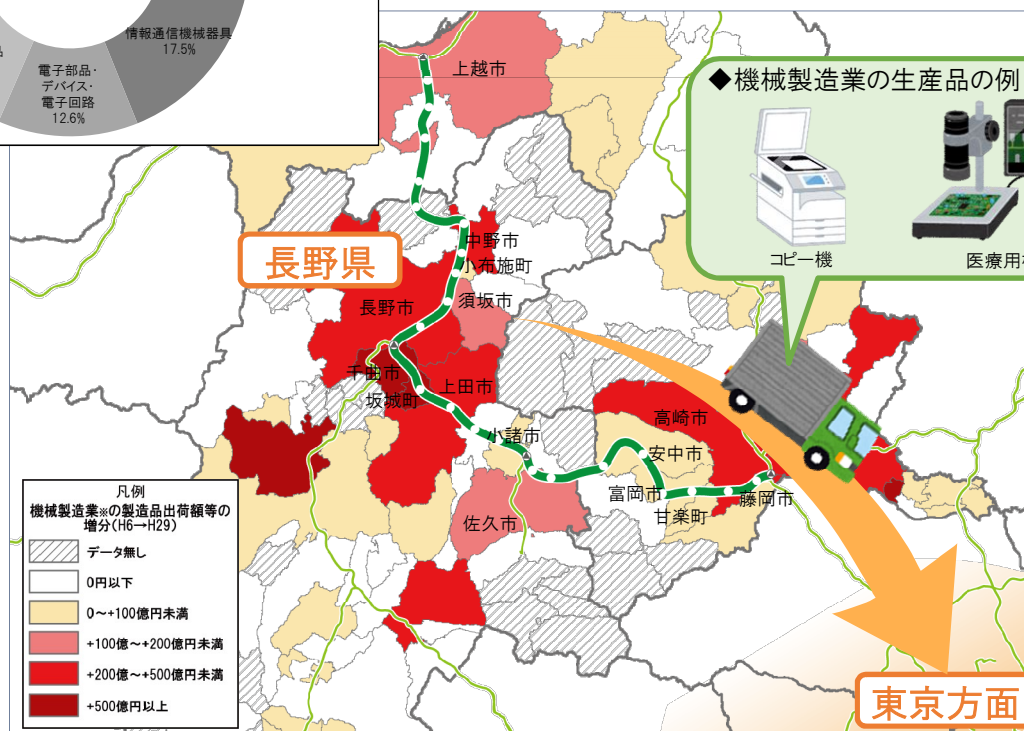
精密加工技術を有する機械製造業が長野県の工業を支えている



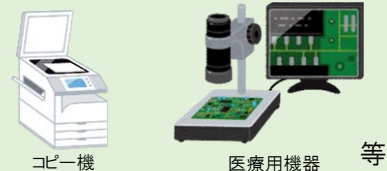
◆ 機械製造業の製造品出荷額



※機械製造業の製造品出荷額の長野県全体の伸び(H6→H29)は約1.2倍



◆ 機械製造業の生産品の例



出典：群馬県統計情報システム、統計ステーションながの、にいがた県統計BOX、「にいがた県の工業-工業統計調査結果報告」

■ 沿線自治体からの声

信州中野ICの整備に伴い、工業系の会社が参入しており、上信越道整備により、人と物の流れが活発になったことで、地域経済の活性化につながりました。



出典：ヒアリング調査（令和元年10月実施）中野市

アクセス網の整備により、市外・県外をビジネスの場とする企業が立地し雇用創出や税収増加につながりました。



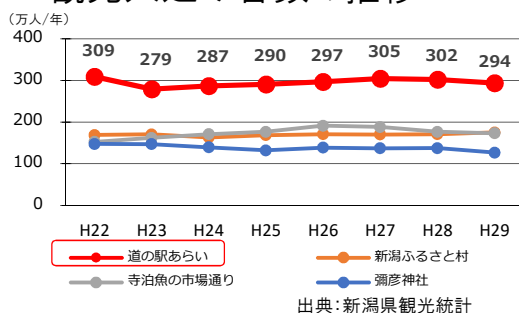
出典：ヒアリング調査（令和元年10月実施）千曲市

上信越道が賑わいを創出

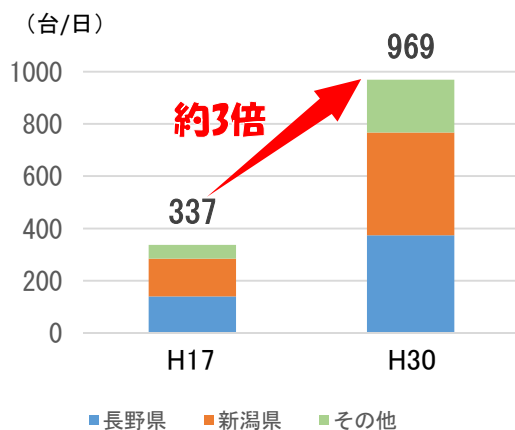
新潟屈指の人気スポットである「道の駅あらい」は目的地の一つとしても利用されており、**パーキングエリアとの併設**、及び**スマートICの整備**が道の駅の賑わいに貢献しています。



観光入込み客数の推移



新井スマートICの利用台数は 供用開始以降約3倍に増加！



～道の駅あらいについて～

道の駅あらいは新潟県の人気スポットの中でも**来場者数が8年連続で県内1位**！国道18号からだけでなく、上信越道の上下線からも利用可能です。高速道路からの出入りはスマートICを利用してさらに快適にご利用いただけます！



道の駅におけるイベント

施設管理者の声 (道の駅あらい)

「道の駅あらい」は新井スマートICが完成してから高速道路を利用して来られるお客様が増えている実感があります。

出典：ヒアリング調査 道の駅あらい

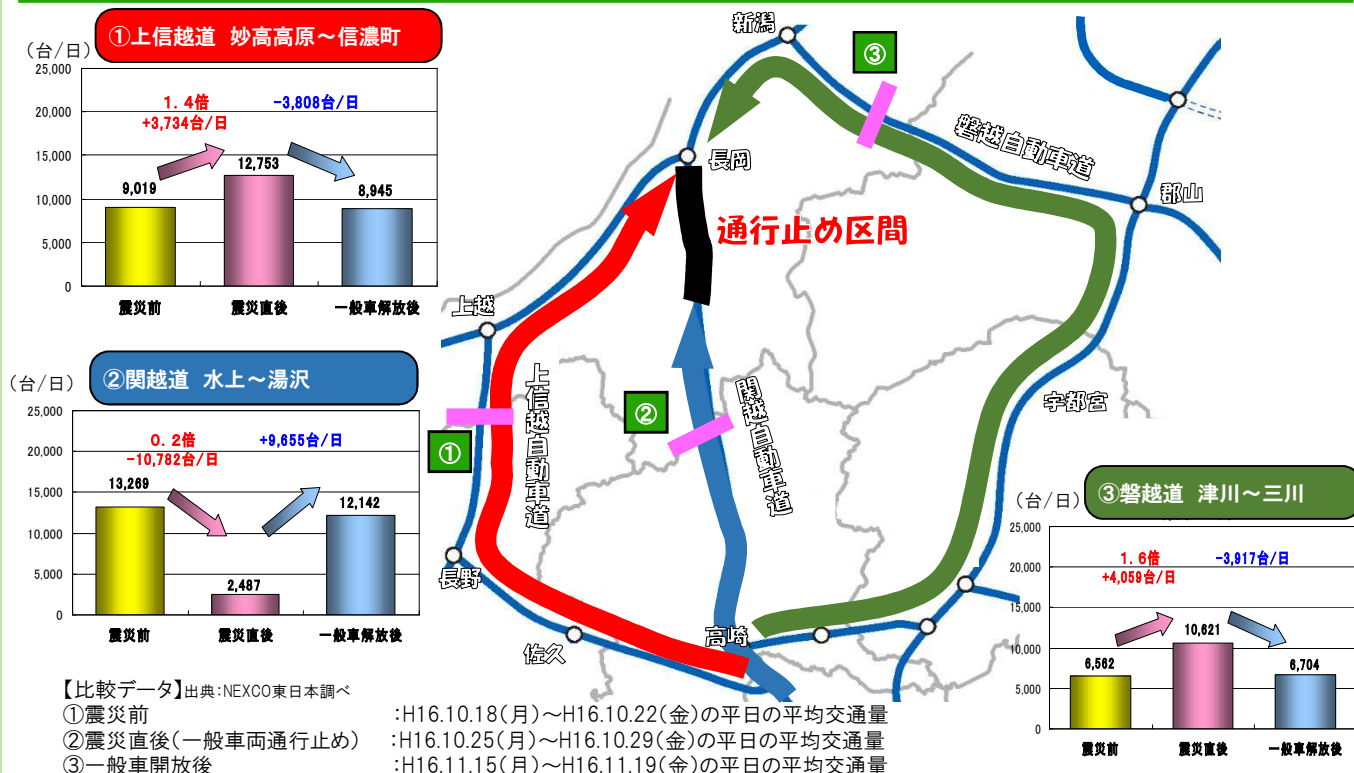
「道の駅あらい」を地域創生の拠点として、更なる機能強化を図るため、拡充エリアに防災、観光や地域資源を活用した農業振興施設等の整備が進められています。(R2年度開業予定)



拡張事業(農業振興施設)のイメージ

上信越道が災害時の生活を支援

平成16年10月の中越地震では、関越道の一部区間通行止め
に対して**代替道路としての機能を発揮**しました。



大雪の孤立集落に向かった除雪隊

平成26年2月の山梨県豪雪では、山梨県と
埼玉県から新潟県への除雪応援要請に対し
て、上越市内企業が**上信越道を利用して**
除雪応援に向かいました！

利用者の声

山梨県甲府市内からの
一般道の様子から途中の
一般道も除雪されていな
いことが考えられたので、
高速道路がなければ現
地にたどり着くことができな
かったと思います。



出典:ヒアリング調査 田中産業(株)



出典:田中産業(株)



全線4車線化でもっと安全・安心・快適に

信濃町IC～上越JCT間の4車線化が令和元年12月に完了！
藤岡JCT～上越JCTの**全線が4車線**となり、**重大事故削減**
や通行止め割合の減少、渋滞緩和が期待できます！

4車線化事業区間(信濃町IC～上越JCT)



4車線化箇所の前後の状況



4車線化前(坂田新田橋)



4車線化後(坂田新田橋)

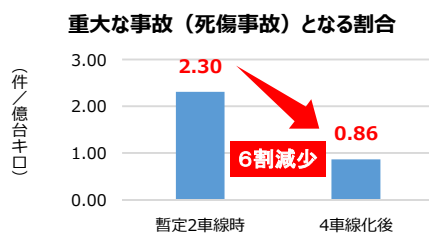


4車線化前(観音平トンネル)

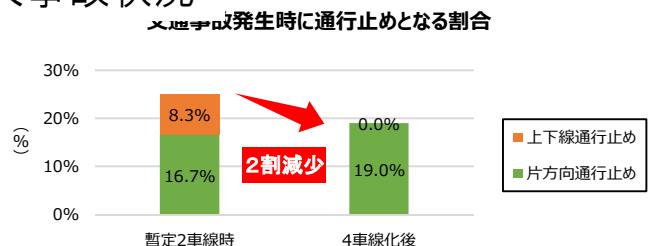
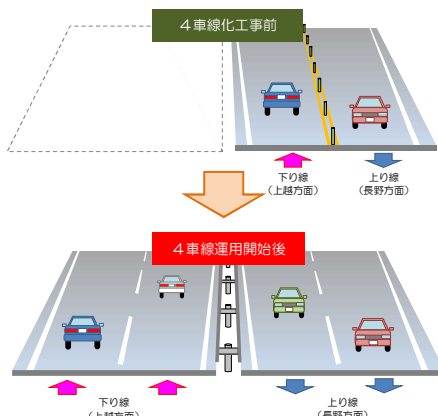


4車線化後(観音平トンネル)

■ 暫定2車線時と4車線化後の重大事故状況



割合: 総死傷事故件数/億台キロ
対象は上信越自動車道 信濃町IC～上越JCT間の
昨年12月に4車線化した箇所
暫定2車線時(H26～H30の1～9月の平均)
4車線後(H31.1～R1.9)
出典: NEXCO東日本調べ(集計対象H26～R1年)



割合: 通行止めを伴う事故件数/総事故
対象は上信越自動車道 信濃町IC～上越JCT間の
昨年12月に4車線化した箇所
暫定2車線時(H26～H30の1～9月の平均)
4車線後(H31.1～R1.9)
出典: NEXCO東日本調べ(集計対象H26～R1年)



中央分離帯に防護柵が設置されることで、反対車線に飛び出す重大事故が減少します。



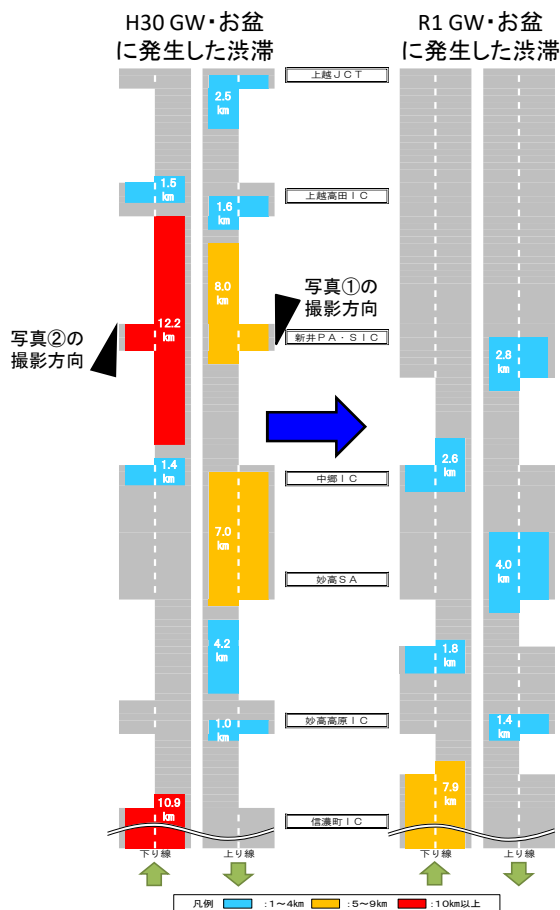
全線4車線化でもっと安全・安心・快適に

信濃町IC～上越JCT間の4車線化が令和元年12月に完了！
藤岡JCT～上越JCTの**全線が4車線**となり、**重大事故削減**
や通行止め割合の減少、渋滞緩和が期待できます！

■ 渋滞発生メカニズム(トンネル連続区間)



■ 4車線化前後の渋滞状況(信濃町IC～上越JCT)



①平成21年GW



②平成30年GW

4車線化前のGWやお盆には交通集中に伴う激しい渋滞が発生していましたが、当区間の8割が4車線となった結果、GW・お盆の渋滞は大幅に減少しました。全線4車線化により、今後更なる渋滞緩和が期待されます。

※上図の渋滞長は、当該区間で発生した最大延長を示しています。